

本学では他の研究機関で行われる研究のために、情報を提供しています。

研究課題名	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究
研究期間	2026年3月31日まで
研究の対象	2023年4月～2025年12月の間に広島大学病院内分泌・糖尿病内科で両側性大結節性副腎皮質過形成の診断・治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：内分泌の診療・研究を専門的に行っている日本全国の内分泌専門家（内科、小児科、放射線科、病理学）が協力して全国の患者さんのデータを収集、解析して、診断方法や治療方針を作成・改訂し、質の高い医療が行えるようすること。</p> <p>研究の方法：各病院で得られた診療情報を大分大学病院、慶應義塾大学に集めて整理し、また各専門施設で解析を行います。本学からは、研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを倉敷中央病院に提供し、両側副腎皮質大結節性過形成に関する情報の収集・解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、年齢、性別、現症、身長、体重、血圧、脈拍、蛋白、アルブミン、AST、ALT、ALP、γGTP、BUN、Cr、Na、K、Cl、Ca、P、eGFR、血糖、HbA1c、血算、CRP、ホルモン（レニン、アルドステロン、ACTH、コルチゾール、DHEAs、TSH、FT4、FT3、カテコラミン、メタネフリン、ノルメタネフリン、HVA、VMA、GH、IGF-1、LH、FSH、エストロゲン、プロゲステロン、テストステロン、PRL、ADH、PTH）、尿一般定性、胸部レントゲン所見、心電図所見、心エコー所見、CT所見、MRI所見、シンチグラフィ所見、骨密度、副腎病理所見
外部への試料・情報の提供	倉敷中央病院への情報提供は、エクセルデータを電子メールに添付し送付することで行います。
提供を開始する予定日	本学における提供の許可日（2026年1月23日）
個人情報の保護	情報を提供する際は、氏名等の個人を直接特定できる情報は提供しません。個人と連結させるための対応表は、本院の責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>研究代表者 大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座 教授 柴田洋孝</p>

	<p>【研究全体の実施体制】</p> <p>別紙：研究全体の実施体制を参照</p>
本学の試料・情報の管理・提供者の氏名 提供機関の長の氏名	広島大学病院内分泌・糖尿病内科 助教 馬場隆太 広島大学理事 田中純子
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。</p> <p>広島大学病院内分泌・糖尿病内科 担当者：助教 馬場隆太（ばばりゅうた） 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5198</p>